

平成28年度議会懇談会を9月29日、30日、それぞれ林業研修会館と農業構造改善センターで開催しました。また、10月29日には上北方集会所で初めて出張懇談会を開催し、3日間で延べ149名の皆さんが参加しました。皆さんから頂いたご意見等については、議会で精査し、今後の議会活動に活かしていきます。

懇談内容

報告会と懇談会の違いは何か

平成28年度一般会計補正予算否決の経緯は

問

昨年の報告会と今回の懇談会、何が変わったのか。懇談会というが、議員個人の見解を述べるものではないとしている。これでは質問にくい。

回答 高橋七重議員

昨年までは議会の一方的な報告のみで、住民から意見を聞く時間が少なかった。このことを反省し、報告内容を簡略化し懇談する時間を長くした。出張懇談会も考えている。

問

・今回一般会計補正予算が否決されたことで、区長を通して要望した事業など、村民にとって大事な事業予算が無駄になってしまった。なぜ否決したのか、理由を説明してほしい。



上北方行政区出張懇談会の様子

【反対議員の意見】

佐藤一一副議長 特に懸案事項として上がっているのは道の駅駐車場拡張調査設計委託料について。

一般会計補正予算を可決すると、道の駅の調査費予算も可決されてしまう。最終的に議員が個々で賛否を判断し、6対5で否決された。

高橋七重議員 道の駅は交流人口の拠点であり、更に発展していってもらいたい思いもある。しかし、騒音や光害悪化も懸念されることから、周辺住民や地権者の理解を得てから事業を進めるべきである。道の駅調査費以外の予算は認める。

年度当初の重点事業にも上がっていない。

根本定雄議員 道の駅事業は慎重に進めるべき。周辺住民にも話を聞きに行き、自分で判断して予算に反対した。他の議員と話し合って否決すると決めたわけではないので、最終的に採決の段階まで否決されるかどうかは分からなかった。

太田清実議員 こども園整備関連予算が無かったのが反対した。道の駅の整備の必要性は認めているが、優先順位はこども園が先と考えた。

永瀬成元議員 まずは若者の定住促進支援、子育て支援事業を重点的に進めてほしい。ジュピアランドひらたや道の駅駐車場整備など、事業が蓬田地区に偏っている。

【賛成議員の意見】

阿部議員 問題視されている道の駅駐車場拡張設計委託料は、国が100%補助してくれる予算。これはあくまで調査費であり、すぐさま駐車場拡張工事を行うものではない。調査をしなければ工事費の概算も出ない。調査後、用地取得交渉や工事費関連予算が議会に提出された時点で否決する方法もある。

瀬谷議員 道の駅関連予算は、何年も要望し続けてやっと獲得した。しかし、国交省からきた予算なので、こども園には使えない。こども園整備関係予算は村でも探している最中。自主財源の少ない本村は、国や県に何度も要望に行き、交付金を獲得している。道の駅関係予算のみ認めないというのであれば、修正動議という方法もあった。

問

・反対理由が道の駅関連予算なのであれば、本会議の前に話し合う機会や時間を設けられなかったのか。修正動議を出し、道の駅関連以外の予算は可決するという方法もあったはずだ。

・一般会計補正予算を否決しても影響がないと考えたのか、今後の対応策はあるのか。

回答

根本定雄議員

議員が個々で判断をし、結果的に否決となった。反対者の人数までは把握しておらず、修正動議までは至らなかった。

回答

佐藤一一副議長

事業の妥当性や順位など、総合的に判断し、道の駅に特化して反対した。予算が否決されたのであれば、執行部は早急に再度議案を提出し、それを審議・議決するのが議会の役目と考えている。

問

・今回の否決で村民の生活にどのような影響があるのか。

・すでに返還した補助金などはあるのか。

回答

佐藤孝雄議員
一番影響があったのは防犯灯LED化事業費。

防犯灯LED化事業費。村で設置した防犯灯を調査しLED化することで、年間の電気代200万円が約70万円に抑えられる。浮いた電気代で新たな防犯灯を設置することも考えられたが、期限もあったため、補助金は県に返還された。

回答

佐藤一一副議長
補正予算には補助金、交付金、一般財源等含まれているので、全てを返すわけではない。今まで返した補助金は700万円ほど。防犯灯LED化事業予算以外はまだ猶予がある。影響を最小限に抑えるよう、執行者側に考えてもらいたい。

問

12月定例会より前に臨時議会を開くよう要請等しているのか。

回答

上遠野健之助議長
9月議会閉会日に、口頭で臨時議会開催を要請している。

回答

佐藤孝雄議員
村長を囲む懇談会終了後（11月中旬頃）に臨時議会を招集したいという話は聞いている。

問

もし臨時議会で、今回と同じ道の駅関連を含む予算が提示されたらどうするのか。

回答

永瀬成元議員
同じ予算案が提案されることはないと思っっているが、同じだった場合は自分なりに判断するしかない。

皆さんから様々な意見が寄せられました

・このような状況になったのは、議員と執行者どちらにも責任がある。村にとって最良の善後策をとってもらいたい。

・地権者や周辺住民に説明するためにも、道の駅の調査は必要だと思う。道の駅に商品を出荷している議員もいるし、道の駅の発展で村民も経済的に潤う。頑張っているのに応援していただきたい。

・本村は依存財源に頼っている。駐車場拡張の必要性を認めているながら、手順が悪いからといって交付金を返還するのはおかしい。国の信用を失う。

・否決自体は悪いことではない。反対理由も明確なのだから、執行側が即刻再議すべきだった。当初計画に載っていないような事業を認めることは

白紙委任のようなもの。

・今回の議決結果は、もっと慎重に事業を進めるべきという行政監視権が執行された現れ。執行側と対立するのではなく、冷静になってお互い話し合ってほしい。

・近隣町村の人からは「道の駅があつていいね」と言われる。自分も今ではいい施設だと思っている。しかし、やはり駐車場は狭く、不便と感じる。

・執行者側も、このままでは国や県の信用を無くす。お互い言い分はあるだろうが、長の顔を立てるところは立て、村民のために折れるところは折れてほしい。あとは、過疎債ばかりに頼って村民に負担がかからないよう監視してもらいたい。

その後

第3回平田村議会臨時会が11月14日、役場議場で行われました。

執行者側が提出した道の駅駐車場拡張調査設計委託料を含む一般会計補正予算案に対し、議会は修正動議を提出しました。結果、道の駅駐車場拡張調査設計委託料を除く予算が修正可決されました。なお、詳細については次回発行の議会だよりに掲載します。

回答

吉田好之議員
ひらた清風中学校の校舎は、平成29年5～6月頃完成予定と聞いている（9月30日現在）。中学校統合検討委員会に議員も2名参加し、力を尽くしている。

問

・スクールバスの停車場所に街路灯や公衆電話を設置してほしいと要望が出ている。

回答

高橋七重議員
除雪や小屋の設置など、停車場所に関してはさまざまな要望が出ているが、バスのルートが確定していないので対応できる段階ではないと聞いている。所管委員会等から早急に要望していきたい。

ひらた清風中学校校舎建設状況は

問

・ひらた清風中学校校舎は来年3月までに完成するのか。

・今年になり、工事遅延に伴う違約金の質問をした議員がいたが、工期が遅れないよう目を光らせるのも議員の仕事ではないのか。